

# giraffe-unit

ジラフ

ユニット

## 1 地場産材が災害時の間仕切りブースに変身。

地域内で製作し、木材需要の拡大。  
地場産材と防災をつなぐこれまでになかった分野！

## 2 スtockヤードフリー

平常時は内装材として活躍！収納スペースが不要。

## 3 キャリーフリー

「災害が起きてからその場で展開する」という考え方。



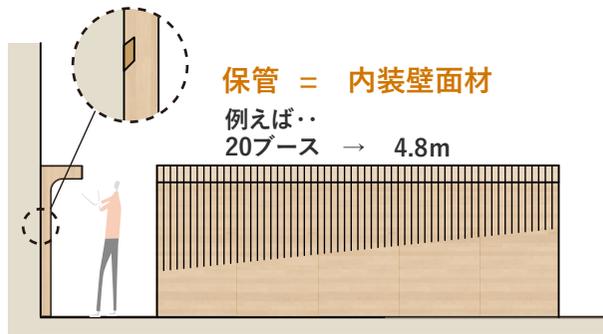
平常時、

壁にひっかけて保管 = 内装材として活躍。

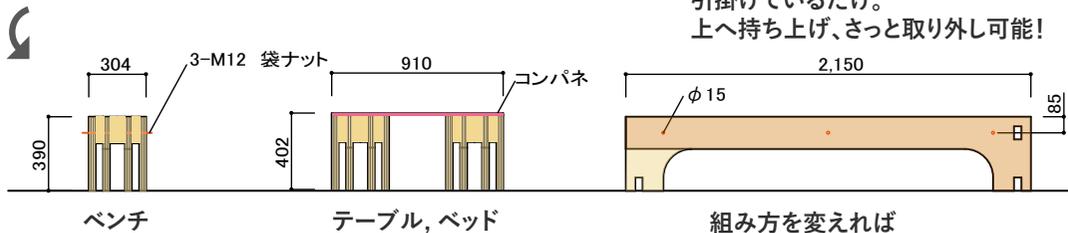
ストックヤードフリー！

ボルトで結ぶだけでベンチに変身。

この孔を利用して、モノを架けたり、連結時に固定に使ったり。  
2つのベンチ上にコンパネを置くと、テーブル！又はベッドになる。



引掛けているだけ。  
上へ持ち上げ、さっと取り外し可能！



組み方を変えれば  
ベンチやベッドに変身！

災害時、

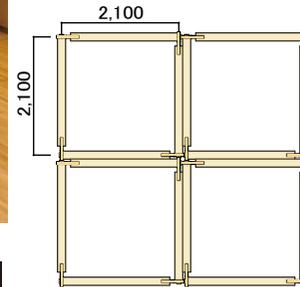
その場で、道具無しで、間仕切りブースに変身。

キャリーフリー。

平常時に内装材やベンチであったジラフユニットは、災害時には間仕切りブースへと姿を変えます。  
普段ユースから災害ユースの視点を持つこのブースが「木」のみで完結しており、  
防災と林業を結びつける一つの新しい切り口として開発しました。



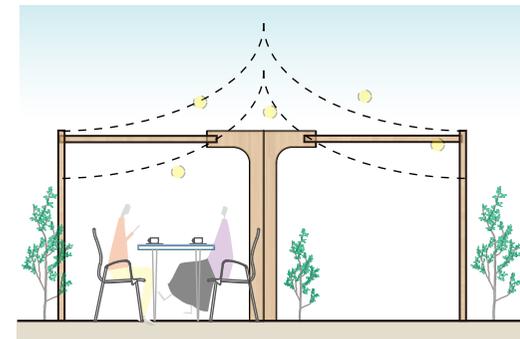
1ブース2.1m×2.1m



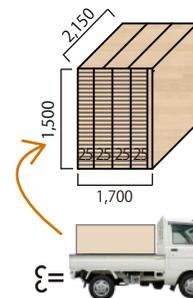
イベント時、

サッと運び、サッと組み立て。

グランピングやイベントブースで使用可能。  
ジラフユニットは内外を問わずどこでも  
使用することができます。

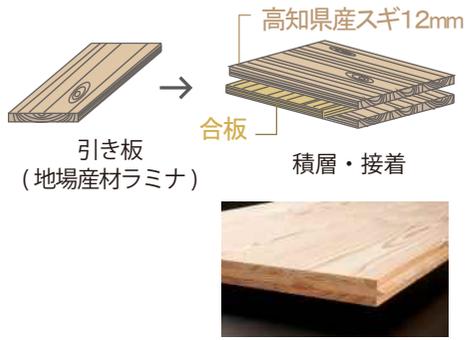


100ブース



軽トラック1台で100ブース！





引き板 (ラミナ) を繊維方向が直交するように積層接着した木質系材料。

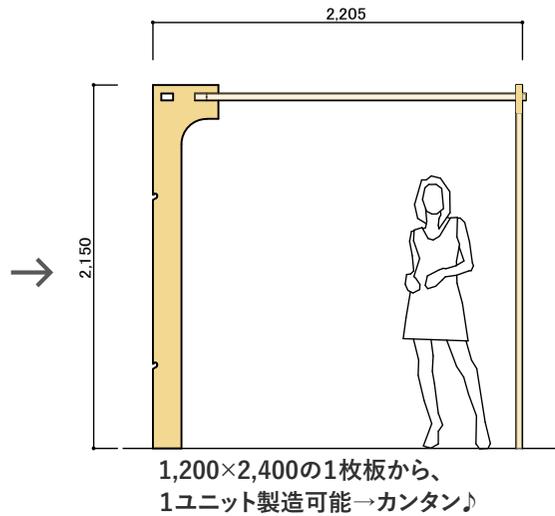
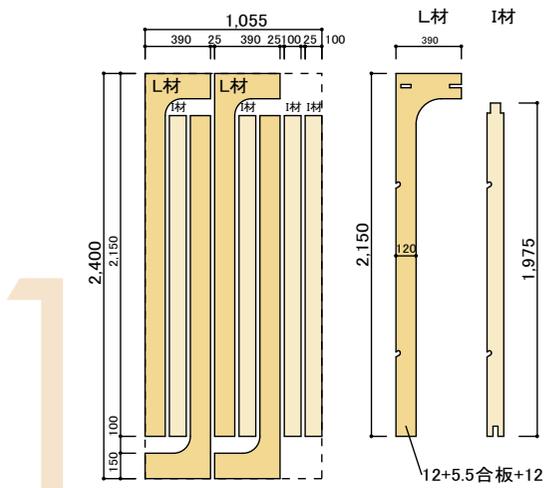
引き板(ラミナ)で合板を挟み込み、積層・接着することでパネルユニットを作成します。ラミナには地場産材を使用し、パネルは地元の工場で生産することができます。

## 材料

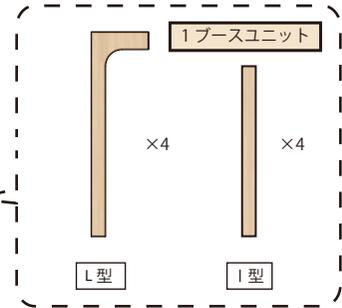


CAD図面を読み込みCNCミリングマシンでくり貫くように製作。コンピュータによる技術を最大限活かすことで、部取りよくスピーディに製作することが可能です。

## 加工



杉パネルの直行集成板(1200×2400×30mm)一枚板から「Lエル」と「Iアイ」の二種類を切り出し、それらを道具なしでホゾ差しすることで約2.1角の木のブースに組み上がります。組み立ては大人2人で3分程度で完了します。



## 図面



模型写真



内装ルーバー



避難ブース



モックアップ写真

## 組立